



2018年6月11日

安全できれいな水を途上国の子どもたちへ！ 今年の寄付は浄水剤704万錠分

「Kyoei Safe Water For Children プロジェクト」の取組みでユニセフに寄付

共栄火災海上保険株式会社（本社：東京都港区新橋1-18-6、社長：助川 龍二）は、不衛生な水をきれいにする浄水剤を途上国の子どもたちに届けるため、公益財団法人日本ユニセフ協会を通じて、浄水剤704万錠分に相当する額を寄付いたしました。2015年10月に社会貢献活動の一環としてスタートした「Kyoei Safe Water For Children プロジェクト」の取組みによるもので、共栄火災では今後もこの取組みを継続していきます。

寄付の実施について

当社では、社会貢献活動の一環として、2015年10月より「Kyoei Safe Water For Children プロジェクト」を実施しております。この取組みは、途上国の子どもたちへ不衛生な水をきれいにする浄水剤を届けるために、自動車保険料の一部を拠出し寄付するというものです。

2017年4月1日～2018年3月31日の1年間で集まった寄付金を公益財団法人日本ユニセフ協会にお届けしました。この寄付金は、浄水剤704万錠として途上国に届けることに使われます。

5月18日（金）に、共栄生協パートナークラブ（※1）の尼子忠敬会長、共栄プロクラブ（※2）の小沼茂文会長および当社専務取締役武藤和文が公益財団法人日本ユニセフ協会を訪問し、同協会の早水専務理事より感謝状が授与されました。早水専務理事からの途上国への浄水剤の必要性和ユニセフの取組みの報告を受け、尼子会長、小沼会長も自動車保険を販売することでこの取組みに参加できていることへの意義を改めて共有されました。武藤専務より「社会貢献活動は継続していくことが何よりも大事で、この取組みを当社のご契約者様や代理店の皆さまにご理解、ご協力していただけるよう努めていきたい。」とこの取組みへの思いを述べました。



左から専務武藤、小沼会長、早水専務、尼子会長、サイ吉



感謝状授与の様様

(※1) 共栄生協パートナークラブ

生協代理店の相互研鑽を目的に 1992 年「共栄生協代理店会」から、2010 年に「共栄生協パートナークラブ」として改組し、生協組合員のより豊かな生活の向上を目指して活動を行っています。現在は 43 会員となっています。

(※2) 共栄プロクラブ

専業代理店を中心に保険の普及活動を通じた社会貢献や研修活動を目的に 1998 年に発足しました。現在、約 300 の代理店が会員となっています。

■ 当社の取組みについて

世界には、安全に管理された飲料水を使用できない人々が 21 億人もいるとされており、不衛生な水を口にすることで下痢や感染症を引き起こし、幼い子どもたちのかけがえのない命が奪われている現実があります。

当社ではこのような現状を受けて、一人でも多くの子どもたちに安全できれいな水を届けたいとの思いから「Kyoey Safe Water For Children プロジェクト」を企画しました。



今回のプロジェクトに加え当社では社会貢献活動として、バレンタインデーの義理チョコとホワイトデーのお返しを、もっと有意義な目的に使えないかと女性社員有志が発起し、1993 年から 20 年以上にわたり「“義理チョコ・あげたつもり・もらったつもり” バレンタイン・チャリティ募金」を実施しています。

また、各家庭で不用になった衣料品や余っている家庭常備薬、おもちゃ、文房具、裁縫用具などを集め、マリ共和国（西アフリカ）の難民キャンプへ贈る「クリスマス・チャリティ」を、同じく 1993 年から実施しています。

当社では、今後もこのような社会貢献につながる各種活動を積極的に実施していきます。